

～白内障～

今回は、眼科疾患の中で最も良く知られている白内障について説明します。白内障は目の中のレンズ(水晶体)が濁る「病気」です。

ただし、白内障の大半は加齢に伴うものですので、顔のしわや白髪が増えるのと同じであると考えれば、一概に「病気」とは言えないかもしれません。

しかし、加齢によるものではなく、本物の「病気」として発症する場合もあり、若い方でも先天性や外傷性のほか、アトピーや薬の副作用、さらには眼内の炎症などが原因となることがあります。はじめのうちは、「明るい所が今までよりもまぶしい」「霧がかかった様に見える」などといった自覚症状が現れます、進行するにつれて徐々に視力が低下します。

「白内障になったら手術しなければいけない」と考えている方も少なくないと思いますが、必ずしもそうではありません。患者さん自身が日常生活で不自由を感じるようになって初めて、手術を検討することになります。手術をする場合、日帰りで行う施設や入院で行う施設もあり様々です。ちなみに当院では入院(2泊3日)で対応しています。ほとんどの場合には、目薬で麻酔を行い、目の状態にもよります

なかやす
眼科 中安 弘毅

が手術に要する時間はおおむね20分前後です。内容的には、濁った水晶体を超音波で碎いて取り出し、代わりとなる人工のレンズ(眼内レンズ)を入れるという方法が一般的です。

手術が予定どおり済めば、翌日には眼帯を外して物を見る事ができるようになります。患者さんからは、今まで霧がかかって見えていたものが「よく見える」「明るくなった」「色鮮やかになった」といった感想をお聞きしますが、中には「自分の顔のしわの多さに驚いた」といったご意見をいただいたこともあります。

しかし、手術をすれば全てがよく見えるようになるという訳ではありません。眼内レンズにはピントを合わせる調節機能がないので、視力が安定していく手術後1か月を目安に必要があれば眼鏡を作ることになります。

「最近見難いな」と感じたら白内障が原因かもしれません。一度眼科を受診し、相談することをお勧めします。

問合せ 市民病院☎24-6111㈹22-0887